



植物観察会



平成26年 10月26日(日曜日)

グリーンメゾン鶴牧3住宅管理組合

植栽管理委員会

高中木	〔紅葉と木の実〕	1	ページ
	ウメ、ウメモドキ、エゴノキ	1	
	カキ、カマツカ、クヌギ	2	
	ケヤキ、コブシ、サクラ類	3	
	シデ類	4	
	トチノキ、ナツツバキ	5	
	ハナミズキ、ヤマモミジ、イロハモミジ	6	
	オオモミジ、ヤマボウシ	7	
	付記・シラカシ、アラカシの実	7	
低木	〔実と紅葉と花〕	8	
	実			
	コムラサキ、センリョウ、ナンテン	8	
	ピラカンサ、ブルーベリー、マンリョウ	9	
	ムラサキシキブ、モクレン、ヤブコウジ	10	
	紅葉			
	カシワバアジサイ、サンショウ、ドウダンツツジ	11	
	ニシキギ、ヒイラギナンテン、ヒュウガミズキ	12	
	ユキヤナギ	13	
	花			
	アベリア(ハナゾノツクバネウツギ)、サザンカ	13	
	チャ、ハギ、ヒイラギモクセイ	14	
	ヤツデ	15	
	つる性木本			
	ツタ	15	
野草	〔花・み・黄葉〕	16	
	花			
	イヌタデ、カタバミ、ゲンノショウコ	16	
	ススキ(穂)、セイダカアワダチソウ、ツワブキ	17	
	ニラ、ハナカタバミ、ホトトギス	18	
	ミズヒキ、ヤブマメ	19	
	紅葉			
	ヤマノイモ	19	
	実・種			
	オモト、ヤブラン、タカサゴユリ	20	

ウメ バラ科、落葉中木 花期；2～3月、果実；6月頃 場所；東法面、北法面



写真は 左、右；2013 11/14、中；2014 6/16 北東法面

ウメモドキ モチノキ科、落葉低木 花期；5～7月、果実；9～10月頃 場所；2号棟北側



写真は
2013 10/21

11 月半ばには葉も
実もかなり散って
いた

1号棟北入口脇

エゴノキ エゴノキ科、落葉中木 花期；5～6月、果実；8～9月に熟す

場所；2号棟南側、6号棟北側、中央広場、10号棟西側。昨年は2号棟南生垣内、10号棟西側に
見事な花を見せたが、今年はそれらはほとんど咲かず、2号棟南側駐車場に多くの花をつけた。



写真は 左・右 2013 11/14 中央広場、中 2014 10/7 2号棟南側駐車場

カキ カキノキ科、落葉高木 花期；5～6月、果実；10～11月に熟す
場所；中央広場に2本



写真は 左右 2013 11/14、中 11/9 いずれも中央広場生垣内

カマツカ バラ科、落葉中木 花期；4～5月、果実；10～11月に熟す、場所；中央広場
昨年は木いっぱい実をつけたが、今年の一部の枝のみ



写真は 左・中 2013 11/1 右 11/27 中央広場

クヌギ ブナ科、落葉高木 花期；4～5月、果実；翌年の秋に熟す 場所；北法面や北三角地など
ゴツゴツして深くえぐれたような感じの幹が特徴。



写真は左・中 2013 11/24 1号棟北側駐車場から、但し剪定前
ドングリは 2014 10/7 落果

ケヤキ ニレ科、落葉高木 花期；4 月、果実；10 月に熟す 場所；中央広場、北法面 8 号棟付近、北東法面など。多摩センター駅周辺や新都市センタービル付近にもある。ゾウの足のような幹、箒を逆さにしたような木の様子が特徴。 写真は 2013 11/1 北東法面、駐車場から撮影



コブシ モクレン科、落葉高木 花期；3~4 月、果実；10 月頃に熟す 場所；北進入路や北三角地など。宇宙人からの贈り物のような奇妙な物体のような、特徴的な形の果実。



サクラ類 バラ科、落葉高木 花期；3 下旬~4 月上旬頃、果実；5~6 月頃に熟す
種類はソメイヨシノ、ヤマザクラ、オオシマザクラが、東法面、北法面、北進入路沿い。
また、エドヒガンは東法面にあり、少し時期が遅れて開花する。



写真は 2014 11/17 北進入路沿いのオオシマザクラ



写真は、左 2013 10/21、中・右 11/17
北側駐車場入口のオオシマザクラ。

紅葉は時期が進によって色濃く、あるいは樹によって、枝によっても色づきが異なる。歩道に目を向けると落ち葉がぎっしり敷き詰められていて、落ち葉した樹よりも色濃くなっている。

シデ類 カバノキ科、落葉高木 花期；4～5月、果実；8～9月頃に熟す
アカシデの果実は8～9月頃に、イヌシデの果実は10月頃に熟す。
場所は2号棟南、6号棟西、中央広場、8号棟北側などにある。



中央広場のアカシデ
写真上の左右 2013 11/24
上右の右の樹がアカシデ。
中央奥の赤い葉はモミジ。

下左はアカシデの花 (2014 4/4)
下右はアカシデの実 (2014 10/7)



トチノキ トチノキ科、落葉高木 花期；5～6月、果実；9月に熟す 場所；北広場、南広場



写真は左・右 2013 11/1 中央の実は 2014 9/13 北広場のトチノキ

ナツツバキ ツバキ科、落葉高木 花期；6～7月、果実；9～10月に熟す 場所；3号棟北側、7号棟北西など。



写真上は 2013 11/14

ナツツバキの幹は、すべすべし、樹皮がはがれたような感じ。

写真右はナツツバキの実 2014 9/4

すでに実は熟し、ほとんど空になっているが多かった。



ハナミズキ ミズキ科、落葉中木 花期；4～5月、果実；9～10月に熟す、10月頃から実をつけ、紅葉が始まる。場所；5号棟南側、8～9～10号棟南側



写真は左 2013
11/5、中 11/14、8
号棟前、他、樹木に

は深いひび割れ状に割れ目がはいる

モミジ類 カエデ科、落葉高木 花期；4～5月、果実；7～9月頃に熟す。紅葉は種類によって異なる。
ヤマモミジ ；中央広場、紅葉は11月中旬～下旬。上から下へ段階的に紅葉した。



写真は
2013
左 11/24
右 11/14



イロハモミジ；東法面バス停付近、紅葉は11月下旬～12月上旬



写真左 2013 12/4
上、実は2個ずつ対につく 11/14

オオモミジ ;北進入路脇、防火水槽側、紅葉は 12 月上旬



写真は 2013 12/7 3 種のもみじの中で、紅葉が一番遅い

ヤマボウシ ミズキ科、落葉高木 花期 ; 5~7 月、果実 ; 9~10 月に熟す

場所は中央広場と 6 号棟南側。

写真は 2013 11/18 6 号棟南側



ハナミズキに似たヤマボウシの花。2014 6/8 中央広場

〔付記〕



シラカシのドングリ



アラカシのドングリ 写真;2014 10/24

〔実〕

コムラサキ クマツヅラ科、落葉低木 花期；7~8月 果実；10~11月 場所；5号棟南生垣内



写真は2014 10/16 5号棟南生垣内

ムラサキシキブとして庭などに植えられる場合が多い。別項参照

センリョウ センリョウ科、常緑小低木 花期；6月 果実；10~2月



写真は2013 11/14 場所；6号棟東

ナンテン メギ科、常緑低木 花期；6~7月 果実；11~2月 場所；居住区、法面の随所



写真は左 2013 11/9、右 11/1 防火水槽付近

この赤い実も年が明ける頃には、小鳥に食べられてほとんど残っていなかった。

ピラカンサ バラ科、常緑中木 花期；5月後半~6月前半 果実；10月後半~1月



写真は 2013 11/18
場所；6号棟南生垣内



ブルーベリー (実と紅葉) ツツジ科、落葉低木 花期；4~6月
果実；7~8月 場所；東法面 写真は 2014 10/7



マンリョウ ヤブコウジ科、常緑小低木 花期；7~8月 果実；11~4月頃 場所；居住区、法面の随所



マンリョウ 2013 11/27 北の階段下脇

シロミノマンリョウ 2013 12/14 北法面

ムラサキシキブ クマツヅラ科、落葉低木 花期；6~8月 果実；10~11月 場所；4号棟南~西、6号棟北側、8~9号棟北側法面



写真は
2013 11/1
9号棟北側

モクレン (紅葉と実) モクレン科、花期；3~4月 果実；9~10月前半
ハクモクレン 落葉高木 場所；4号棟西生垣内、モクレン 落葉中木 8号棟東側



中央の奥の樹

写真は 左・中 2013 11/1 4号棟西生垣内 右 モクレンの実 2014 9/15 8号棟東側

ヤブコウジ ヤブコウジ科、常緑小低木 花期；7~8月 果実；10~11月 場所；東法面



写真は 2013 12/14 東法面 慣れないと葉に埋もれて分からない。

〔紅葉〕

カシワバアジサイ ユキノシタ科、落葉低木 花期；6月 紅葉；11~12月 場所；東法面



写真は
左
2013 12/4
右
2013 11/9
東法面

サンショウ ミカン科、落葉低木 花期；4~5月 果実；10月 場所；北法面、2号棟北、6号棟東
雌雄異株、花期には花や葉で雄雌が区別しやすい。



写真は
2013 12/4
法面北東角

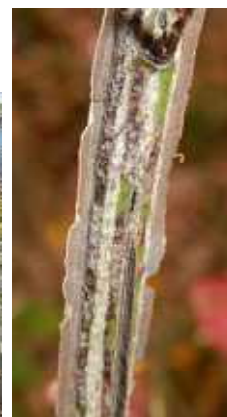
ドウダンツツジ ツツジ科、落葉低木 花期；4月 果実；10~11月 場所；8~10号棟南、北法面など



写真は 2013 11/19 8号棟前の生垣

ニシキギ ニシキギ科、落葉低木 花期；5~6月 紅葉；10~11月

場所；中央広場7号棟寄り、7号棟東の通路脇、1号棟北駐車場と進入路の



間の場所

写真は 2013 11/1 1号棟北駐車場と進入路の間の場所 幹に翼がある(右写真)

ヒイラギナンテン メギ科、常緑低木 花期；3~4月 果実；7月 場所；5号棟北、北法面など



写真は
2013 11/1
5号棟北側

ヒュウガミズキ マンサク科、落葉低木、花期；3月後半~4月 紅葉；11~12月

場所；5号棟北、東法面バス停付近



写真は 2013 12/2 5号棟北側 微妙なグラデーションが美しい

ユキナヤギ バラ科、落葉低木、花期；3月後半~4月 場所；1号棟南、南広場など



写真は 左；2013 11/25、中・右 2014 1/5 ふだん紅葉など気にしない植物にもこんな変化がある

【花】

アペリア(ハナゾノツクバネウツギ) 半常緑低木 花期；6~10月 場所；8号棟北階段など随所



写真は 2014 9/26 2号棟南 盛りの時期には、側を通るとほのかな香りに包まれる

サザンカ ツバキ科、常緑中木 花期；10~12月 果実；翌年9月頃 場所；居住区随所



写真左から タチカンツバキ、セイカイハ (2013 11/25)、カンツバキ系緋乙女 (11/1)
随所にいくつかの種類が植えられている。

チャ 常緑低木～中木 花期；11～12月 果実；翌年11月頃 場所；5号棟北ヒュウガミズキの中



写真は 2014 10/20 5号棟北側ヒュウガミズキの植え込みの中、多くは下向きに咲く

ハギ マメ科、落葉低木 花期；5月後半～10月 場所；法面随所



写真は 左 2013 10/21 ミヤギノハギ、中には丸みを帯びた種類も混じる(右 11/1) 北進入路脇

ヒイラギモクセイ モクセイ科、常緑中木 花期；10月頃 場所；7号棟東通路間など各所の生垣



写真は 2013 11/9 この生垣に花が咲いている！ほのかな香りがある。

ヤツデ ウコギ科、常緑低木 花期；11~12月 場所；法面随所



写真は 2013 11/1 北法面

【つる性木本】

ツタ ブドウ科、落葉つる性木本 花期；6~7月 果実；秋 場所；法面随所



写真 左；2013 12/4、上；2014 10/4

上は花のつかない若くて細い枝(長枝)の葉のようだ

【花】

イヌタデ (アカマンマ) タデ科 花期；6～10月



写真は
2014 10/4

カタバミ カタバミ科 花期；5～7月 写真は 左；2014 10/4、 右；2014 1/8



葉が睡眠運動する。花は曇りや雨の日にも閉じる。花期は上に示すが、条件さえよければ1月でも花が見られた。右は寒さで半開きの花と、閉じた葉(1月)。

ゲンショウコ フウロソウ科 花期；7～10月 場所；東法面1号棟東方、8～9号棟間北法面



写真左から、花；2014 10/15、 花と朔果；2013 10/14、紅葉；2013 12/25 東法面
今年は東法面のいつもの場所でぜんぜん花が見られなかった。

ススキ(穂) イネ科 花期；8～10月



写真は 2013 11/5 10号棟わき陸橋の Brillia 側

ススキの花 2014 9/29 旧わんにゃん東側

セイトカアワダチソウ キク科 花期；10～11月



写真左は
2013 11/5
花は小さな
花の集合

右
2014 10/7
北東法面



ツワブキ キク科 花期；10～12月 場所；北進入路脇・防火水槽付近、10号棟西側など



写真は 2013 11/1 北・防火水槽脇 花弁はどこか不揃い。花は周囲に舌状花、中に筒状花の構造

ニラ ユリ科 花期；8～9月 場所；東法面バス停付近



写真は
2014 9/26

花は小さいが気品
がある
葉に独特のにおい
がある



ニラはもともと野草！日本のものは栽培されていたものが野生化したか？これは植木鉢から捨てられたもの。

ハナカタバミ（オキザリス・ポーウィー）カタバミ科（園芸種）花期；10～4月



写真は、左 2013 11/1、右 2014 9/26 東法面緑化ブロック下（バス停付近）

緑化ブロックのツツジの土とともに運ばれたようだ。

ホトトギス ユリ科 花期；8～9月 場所；東法面



写真は 左 2014 9/26、右 10/4。 他の植栽を移植した時に土とともに運ばれたか？

ミズヒキ タデ科 花期；8～10月 場所；北法面、他



写真は
2014 9/26
北東法面



花の上は赤、下は白でミズヒキ(水引)。縁起植物

ヤブマメ マメ科 花期；9～10月 場所；三角地（北進入路と北駐車場の間）



写真は 左 2014 10/16、右 10/4 三角地 見落とされてしまいそうな小さな植物。クズのミニチュア？

【紅葉】

ヤマノイモ ヤマノイモ科 花期；7～8月



写真は
左
2013 11/1
右
2013 12/5

深みのある黄色が印象的

【実・種】

オモト（万年青；古典園芸植物）ユリ科、常緑多年草 花期；5～7月 果実；秋に熟す 場所；東法面



ヤブラン ユリ科 花期；8～10月 場所；法面など、8号棟入口には斑入りが植えられている



写真は 全体と実 2013 11/9、花 2014 9/26 今年あまりよい状態のものが見られなかった。

タカサゴユリ(種) ユリ科 花期；7～9月 場所；10号棟北法面に多い、東法面、居住区にもあり



写真は 2013 11/19 10号棟西 朔果から薄い種が風に飛ばされる

植物観察について

① 観察についての注意事項

- 法面に入る場合は、常に長袖、長ズボン、そして動きやすい靴を着用してください。虫や木の枝、クモの巣があり、通路がデコボコしています。

特に夏から秋にかけては蚊がすごいので、虫よけスプレーなど使用し、かつ肌を露出しない服装を心掛けてください。法面に入るのは蚊の餌になりに行くようなもの。要注意。

- 法面に入り植物を見て回るには、斜面を上がったり下がったりする事になります。木の枝や切り株に足を取られて転倒しないよう注意してください。また、法面の端、歩道側は段差になっています。特に東法面は歩道との段差が1メートルほどもあります。木の枝に足を取られて足を踏み外さないように気をつけてください。法面端の側溝に片足を入れ身体を確保してから木の枝を見上げるなど、注意してください。

(足を踏み外して歩道にたたきつけられると痛い目に会いますので。私の失敗を踏まえて)

- 居住区内の植物観察に際しては、各戸のプライベート空間に隣接しているので迷惑にならないよう注意してください。

② 植物観察について

- 植物を見分けるには、実際に自分の目で見て確認する事です。写真や絵を見ただけでは分かりません。実際に自分の目で見ることによって判別がつくようになります。

- 我々素人が植物を見る時、「花」に着目するのが一番分かりやすい。専門家に聞けば「葉に着目するのだ」という事ですが、我々には「葉」だけではさっぱり分かりません。やはり、花を見て区別をして、その上で「葉の形状」を覚えていくしかないと思います。

- その時必要なものはやはり図鑑です。図鑑は、樹木、野草、園芸種などの分野別になっています。図鑑は高価なものが多いので、その全部を揃えるのは大変です。自分の関心のある分野で揃えていきましょう。

その時、普及版の一冊だけでは不十分です。より詳しいもの、あるいは編集方法が異なるものなど、複数冊あった方が便利です。簡単に調べるには普及版で、それに漏れているものは詳しい図鑑で。また、一般に図鑑は種別になっていますが、私たち素人にはその植物が何の種か分からない場合が多い。その時は、季節ごとに、樹木も野草も園芸種も入っている図鑑があれば、ページを初めからパラパラめくって調べていくこともできるでしょう。

どうしても分からなければパソコンのインターネットを使います。「季節 花卉の枚数

色」など思いつくキーワードを入力して検索していく方法もあります。検索結果の写真からおおよその見当をつけ、さらにその植物を検索して絞っていく。

私はこんな方法で調べています。

なお、以前は「写真の図鑑ではだめだ。花や葉や根まで描かれた手描きの図鑑でないと役に立たない」などと言われていたようですが、現在は写真の図鑑が主流です。植物の部分部分まで細かく写真に撮られた図鑑もあり、私もそれを利用しています。また、在来種が消え、急速に外来種が広がってきている現状では、描かれた図鑑では現状に追いついていないように感じています。

③ 観察の時期について

● 観察の時期については、本文に紹介しました花や実や紅葉が、一度に見られる訳ではありません。というより、そのほんの一部しか見られません。それぞれ花期も短く、紅葉の時期も樹の種類によってまちまちです。ですから様々な植物の旬な時期に出会うには、足しげく見て回るしかありません。写真の説明に付記した月日の前後に、またその場所に見に行ってください。

● 木々の花も毎年同じ様に咲くとは限りません。たとえば、

・エゴノキの花……2号棟南生垣内や10号棟西側のエゴノキは毎年よく咲いていて、花が散り敷いた感じも見事でした。しかし、どうしたわけか今年はほとんど花をつけませんでした。その代わりに、今年は2号棟南駐車場側が樹いっぱい咲いていました。

・ガマズミ(2号棟南生垣内)……今年虫食いがひどく見る影もありません。

● 野草はとくに草取りに依存しています。一般には根が残れば来年も同じ場所に生えてきますが、自動草刈り機で土まで刈り込まれてしまい、無くなる場合もあります。

・ゲンノショウコ……以前は中央広場にも群生していたが、今はほとんど見られません。

東法面の1号棟東方付近、今年はまだ見つけていない。

・ヘクソカズラの実、ワルナスビの実もまだ見つけていない。

これらは法面がきれいに整備されたという事です。草ぼうぼうでは見苦しいですが、あまりきれいに刈り込まれ何も無くなってしまうと、観察する側としては面白みが無くなってしまいます。このように野草の観察は、整備と放置のバランスの上にあります。

④ 観察・写真撮影について

● 野草を探すには身をかがめて地面を注意深く見ます。樹木を見るには見上げて観察します。植物観察は上を見たり下を見たり大変です。私も以前から野草に関心がありましたが、地面ばかり見ているので、頭上の樹木の事はさっぱり分かりませんでした。植栽管理委員会に関わりを持って、必要性からほんの少しは樹木も分かるようになりました。

● 植物観察にはルーペと双眼鏡があれば便利です。カメラは接写能力が高く、望遠も倍率の高いものがが必要です。(私の場合はカメラ一本でやっていますが)

● 樹木は高さが 20~30 メートルと高いので、見上げても花や実や葉の状態などなかなか分かりません。こんな時は陸橋や駐車場の段差、ペDESTリアンデッキなどを利用すれば、目線で花や実や葉の状態を観察できますので、これを利用するようにします。たとえば、

- ・ 10 号棟わき陸橋……サクラ
- ・ 新都市センタービル陸橋……クスノキ
- ・ 警察署と明治生命の間の陸橋……ケヤキ
- ・ 駅のペDESTリアンデッキ……クスノキやケヤキ
- ・ 東駐車場の法面側から……ケヤキ、カシ類、タブノキ、ヤナギ、エドヒガンなど

※ ただし、この場合カメラを落とさないように注意してください。(私は名札下げの紐を利用しています)

● 花の写真を撮る場合、花だけでなく、全体が分かる写真も撮るようにします。団地内の樹木の場合は、樹木のナンバーや樹名札も撮るようにすれば、後の整理が楽になります。あるいは周囲の風景も撮っておくのも場所を確認する手掛かりとなります。フィルムではムダになるので余計な写真は撮れませんが、デジカメならいくら撮っても無料なので、どこで何を撮ったか分かるように写していくようにするのがよいでしょう。

● 写真のファイル設定は 4M ピクセル (画素数)、900KB (キロバイト、サイズ) でやっています。以前の簡単なデジカメで 3.2M (700KB 位) でディスプレイ一杯に拡大しても遜色がなく、Word に張り付ければ、そのつど圧縮をかけなければならなかった。それでそれ以上の高密度のものは不要という事です。

ただし、印画紙に焼き付ける場合は 8 切位が限度でした。もし、写真展に出すにはもっと高密度である必要はあるでしょうが、植物観察には、高密度より枚数を稼いだ方が便利でしょう。

⑤ 法面の植物構成

法面はわが団地の庭のように、法面に入れば街の喧騒を忘れてほっとすることもできます。が、「みどりがいっぱい」でも、「自然がいっぱい」ではありません。見てお分かりのように、自生種だけの世界ではありません。樹木はもともとわが団地造成の時に計画的に植えられたものなので除くとしても、法面を構成する草花 (草本) はどのようにここに生えてきたのかと、たびたび疑問に思います。小鳥によって運ばれたもの、風によって飛ばされてきたもの、それだけでなく、人間が人為的に植えたもの、あるいは工事の時に (意

図せずに) 植栽の土に混じってもたらされたもの、あるいは、植木鉢の土を捨てた時に、その土の中に種や根が混じっていて生えてきたもの等など。このように法面は自生種と栽培種がごちゃまぜに混じった「るつぼ」なのです。

「本来の法面の自然を取り戻すには」という問いは無意味でしょうが、「どのような法面にしていけばよいのか」は、住人の一人ひとりが考えていく必要があります。

⑥ 最後に

以上の事は、私自身の体験から記しています。が、私自身、植物の専門家でも、植物オタクでもありません。いまだに分からない事ばかりです。以前から多少は「野草」や「環境」に関心を持っていましたが、今は委員会に関わり、必要に迫られて見て回っています。こんな訳ですので、私自身の不勉強から様々な間違いもあるかと思えます。もし間違いがございましたら、どうかその旨ご指摘ください。

以上

[写真・文；石川]